Panasonic®

取扱説明書

保管用

オートリフター内蔵HIDダウンライト（一般屋内用）
クリーンフーズシリーズ

品　番	適合リフター	組合せ品名	適合ランプ
NCX73220	YB09560	XNNCX3105L2	HF300X（・W） MF300・L／BU（－SC）－P NH270F・L NH270FD・L CM270F・L－LW／BU CM270F・LE－W／BU

※適合安定器について・・・・必ず、カタログで使用ランプに適合する安定器を確認して別途手配してください。
・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施　工　説　明　工事店様へ、施工完了後お客様へ操作方法を説明したうえで、この説明書を必ずお渡しください。

昇降中に動作音がします。音量は器具取付条件等により差が出る場合がありますので、予めご了承ください。

・必ず別売のオートリフター（YB09560）と組み合わせてご使用ください。
器具内にホコリが侵入するおそれがあります。
・オートリフターは照明器具のメンテナンス以外に使用しないでください。
・オートリフター制御盤・操作盤は別売です。
（100V加工の場合は制御盤・操作盤は加工になります。別途ご相談ください。）

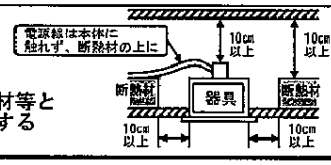
・適合オートリフター制御盤
YK08011,YK08013,YK08016
・適合オートリフター操作盤 YK08306
・セレクトスイッチ

安全に関するご注意

⚠ 危険

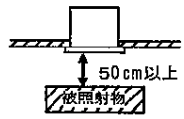
●断熱材、防音材をかぶせて使用しない。
火災の原因となります。
●住宅の断熱施工天井には、使用しない。

器具は、断熱材・防音材・造営材等と
右図のような空間を設けて施工する

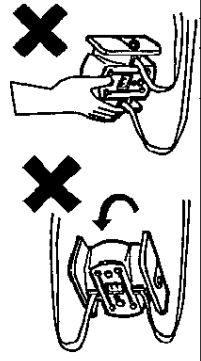


⚠ 警告

●施工は取扱説明書にしたがい、確実に行う。施工に不備があると発火・感電・落下の原因となります。
●接地工事（D種接地工事）を確実に行う。接続に不備があると感電の原因となります。【電気設備技術基準】
●器具の改造及び、構成部品（ソケットなど）の交換は、絶対に行わない。発火・感電・落下の原因となります。
●直射日光の当たる場所、振動のある場所、器具に直接雨、風の当たる場所、天井内で湿気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しない。天井裏は常温常湿で使用する。
発火・感電・落下・サビの原因となります。
●天井埋込専用ですので、壁取付や天井直付及び傾斜天井へ取付けない。
発火・感電・落下の原因となります。



●器具と被照射面との距離は、50cm以上離す。被照射物の火災・変色の原因となります。
●ベルトを引き出したり、たるませたりしない。ベルトの巻き取り異常により落下の原因となります。
●ベルトを折り曲げたり、足で踏みつけたりしない。ベルトの強度低下により、落下の原因となります。
●昇降部を降ろした状態で、ベルトが折れる方向に、昇降部を持ち上げない。
ベルトの強度低下により、落下の原因となります。
●昇降部を降ろした状態で、昇降部を持ち上げ回転させない。ベルト切断による落下の原因となります。
●昇降部を降ろした状態で、昇降部を持ち上げ落とす等 ベルトに衝撃的な力を加えない。
ベルト切断による落下の原因となります。



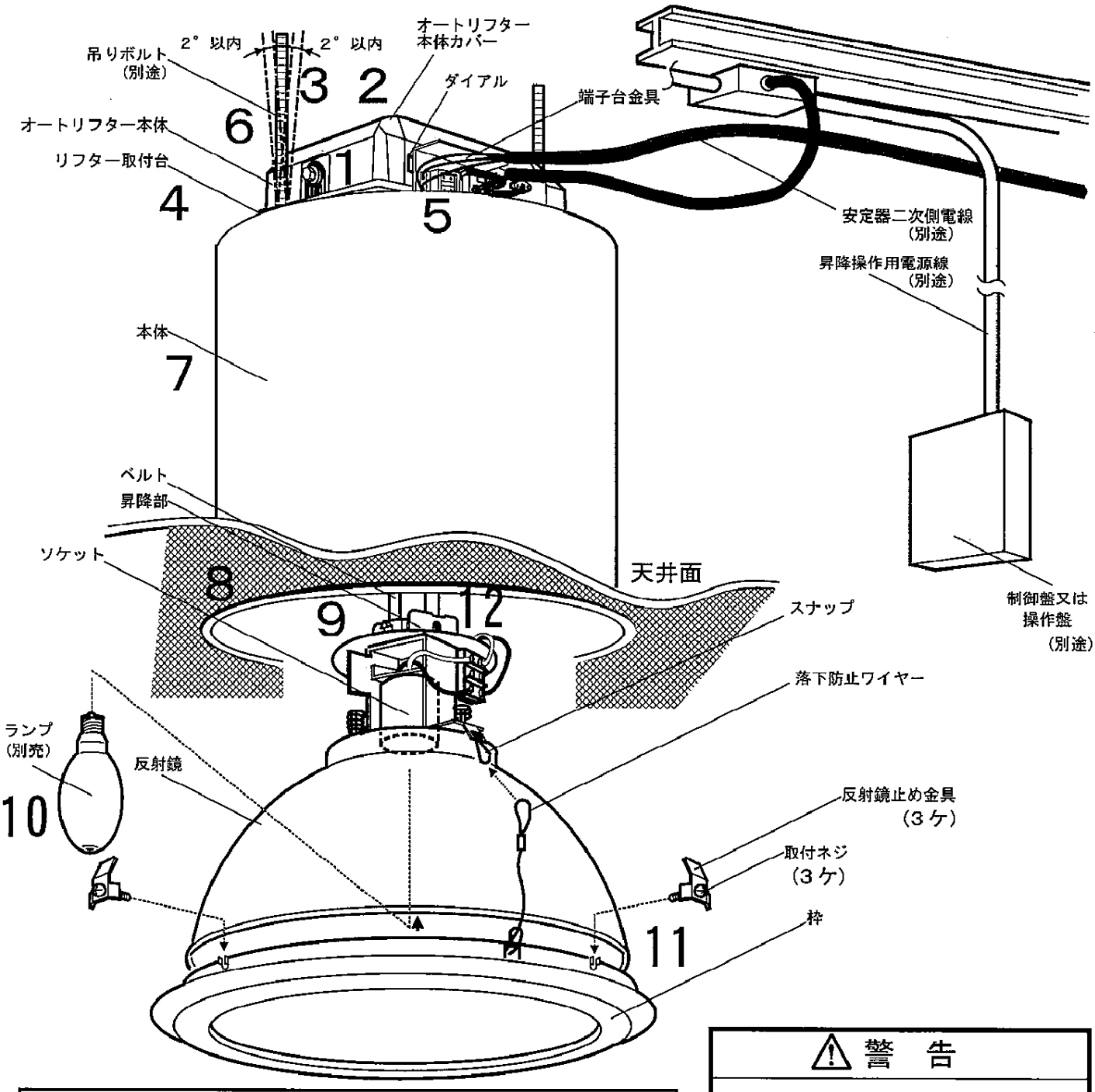
●本体の表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。
指定外のランプを使用すると火災、ランプ破損の原因となります。
●天井部に凹凸がある場合は、取付部と本体パッキンのすき間をうめる。
落下・感電・火災・サビの原因となります。

⚠ 注意

●表示された電源電圧（定格電圧±6%）、以外の電源で使用しないでください。感電・発火の原因となります。
●周囲温度は、5～35℃以外で使用しないでください。火災またはランプの短寿命の原因となります。
●昇降中、昇降部を回したりゆらしたりしないでください。落下の原因となります。
●昇降中、直下に人が立つことのないようにしてください。けがの原因となります。
●オートリフター本体カバーを外さないでください。故障の原因となります。
●取付け面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取付けてください。サビや変色の原因となります。
●昇降部（照明器具）が上昇中に造営物にひっかかった場合、ただちに操作スイッチを停止にし、
ひっかかりをとりのぞいて正常な状態にもどしてください。放置しますとモーターが焼損することがあります。

各部のなまえと取付けかた

これは一部簡略化した図です。



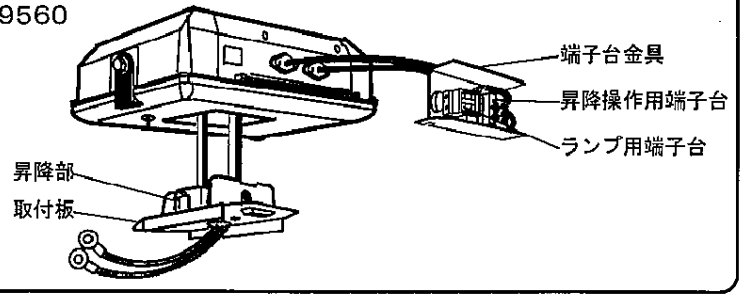
⚠ 警 告

天井面の水平方向からの傾斜は±2.5°以内にする。
傾斜角度が±2.5°以上の天井に器具を取付ける場合、落下・破損の原因となります。

⚠ 警 告

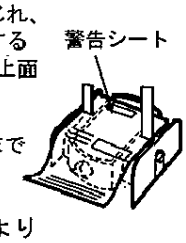
施工は、取扱説明書にしたがい
確実に行う。不備があると
落下・感電・火災の原因となります。

オートリフター（別売）
YB09560



昇降部に照明器具を取付ける前に、昇降部が回転し、ベルトがねじれ、巻き取り異常となるのを防止するため、「警告シート」を昇降部上面にのせています。

昇降部に照明器具を取付けるまで外さないでください



ベルトの巻き取り異常により
落下の原因となります

昇降高さの設定・調整について

オートリフター取付け前の準備。

① 昇降高さを決める

② オートリフター本体で設定する
- オートリフター本体側面のダイヤルを昇降高さに合わせる。
  設定範囲　(0～15m)

オートリフター取付け後、高さ調整が必要な場合。

③ オートリフター昇降部で調整する
- 昇降本体の軸を回転させて調整する。(P5参照)
  調整範囲　上へ3m ～ 下へ1m

器具を取付けた後で設定範囲を変更することはできません。
オートリフター昇降部での調整範囲は上へ3m ～ 下へ1mしかありませんので予め昇降高さをオートリフター本体で設定してください。　昇降高さの設定に不備がありますと、昇降部が設定した高さで停止しません。

1 昇降高さを設定する

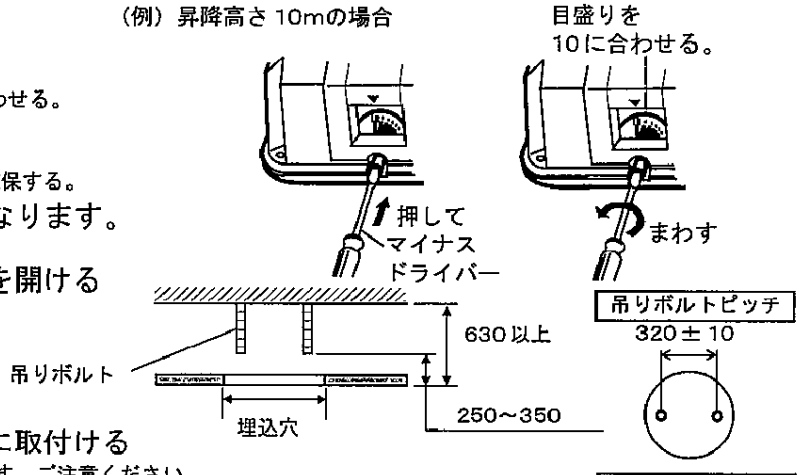
(昇降前に必ず高さ調整をしてください)
- オートリフター本体側面のダイヤルを昇降高さに合わせる。

2 取付け前の確認をする

- 器具質量（15kg）に十分耐える様取付部の強度を確保する。

不備がありますと器具落下の原因となります。

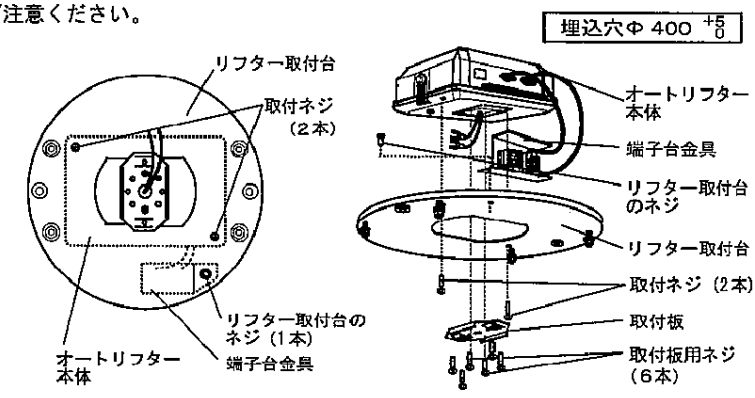
3 吊りボルトの取付け、及び埋め込み穴を開ける



4 オートリフター本体をリフター取付台に取付ける

注) オートリフター本体の取付けには方向性があります。ご注意ください。
- オートリフター本体より取付板を取りはずす。
- オートリフター本体の2カ所の取付ネジをはずし、リフター取付台のネジ穴に合わせ、取付ける。
- リフター取付台のネジをはずして 端子台金具のネジ穴に合わせ、リフター取付台に取付ける。
- 取付板用ネジ（6本）で取付板をオートリフター本体に取付ける。

オートリフター本体、端子台金具を確実にリフター取付台に固定してください。
取付けていない場合、器具本体、オートリフター本体のアースが取れませんので感電の原因となります。

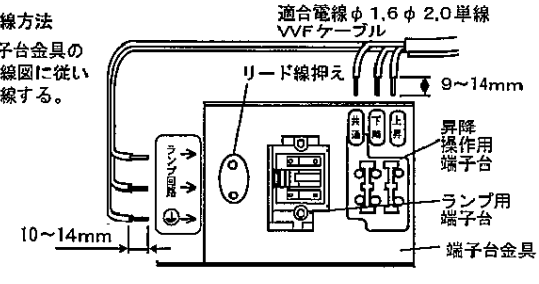


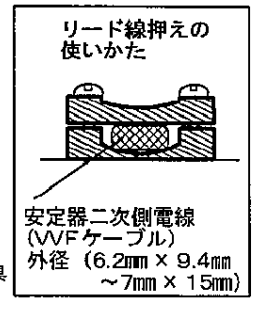
5 端子台に安定器二次側電線・アース線を接続する

- アース線を使用してD種（第3種）接地工事を行ってください。

接地が不完全な場合、感電の原因となります。
- 昇降操作用電源線、安定器二次側電線を端子台に結線する。
- 安定器二次側電線はリード線押えでしっかりと固定してください。
- ケーブルの押え量はケーブル外径の1／4程度としてください。
- 昇降操作用端子台の送り容量は15A以下です。
- ランプ用端子台は送り不可です。

●結線方法
- 端子台金具の結線図に従い結線する。



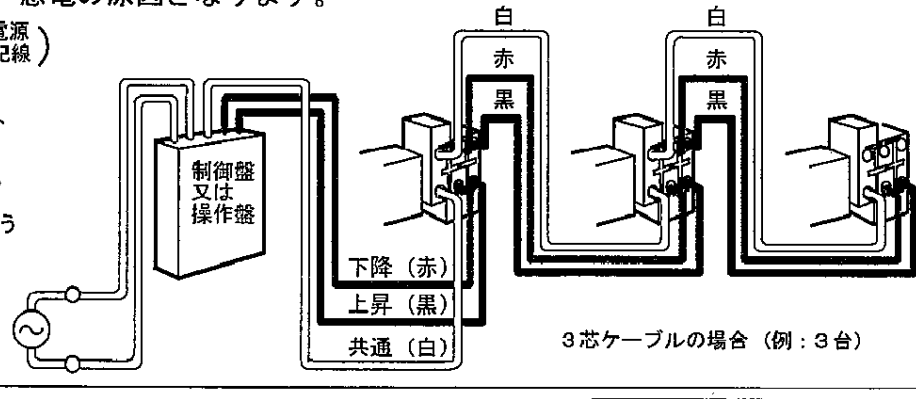


容量オーバーした場合、火災・感電の原因となります。

送り配線をする場合 (昇降操作用電源 推奨送り配線)

- 誤結線するとすべて又は一部の器具が動作不良を起こす原因となりますので、十分注意して結線してください。
- 操作盤への結線時にもご注意願います。

注) 電線の色を確認し、誤結線のないよう注意してください。

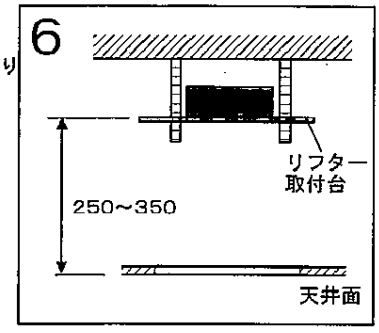


取説 No.NCX73220 － T7

6 リフター取付台を仮吊りする

・指定の寸法内でリフター取付台を座金、ナットで仮吊り

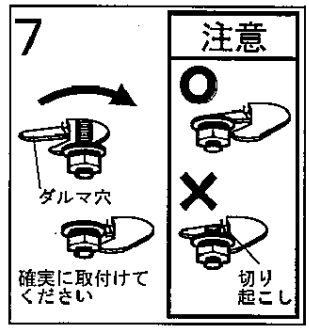
指定外ではリフター取付台・器具の故障の原因となります。

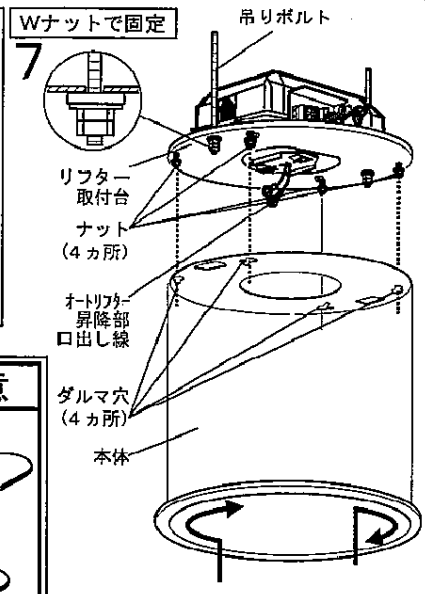


7 本体を取付ける

・リフター取付台のナット（4ヶ所）をゆるめる。
・本体の中心の穴から口出し線が出る状態で
リフター取付台と本体をダルマ穴4ヵ所から
ナット（4ヵ所）が出るように合わせる。
・リフター取付台のナット、バネ座金、座金が
本体のダルマ穴にある切り起こしを越えるまで回転させる。
・リフター取付台と本体のすきまが全周ないように
ナット4ヶ所を締めつけてください。又、この時、
オートリフター昇降部の口出し線が、かまないよう
注意してください。
不備がありますと火災・感電・落下の原因になります。

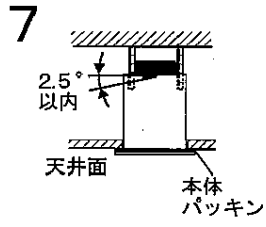
不備がありますと器具の故障の原因となります。





8 本体を天井材に固定する

・リフター取付台の仮吊りしたボルト用ナットを締め上げ、
Wナットで本体を天井材に確実に固定する。
・必ず本体と天井面にスキマがないように施工してください。
・本体パッキンのはずれがないか確認してください。
・本体が水平に取付いていることを確認してください。



⚠ 警 告

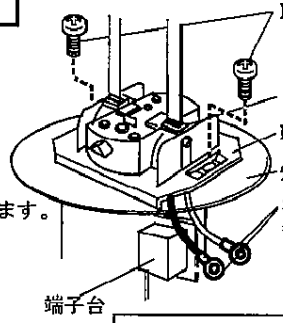
**本体のの水平方向からの傾斜は± 2.5° 以内になるよう取付ける。
不備がありますと器具の故障の原因となります。**

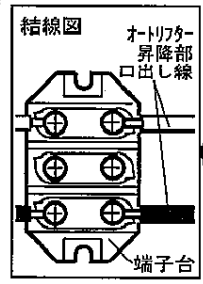
9 灯具にオートリフターの昇降部を取付ける

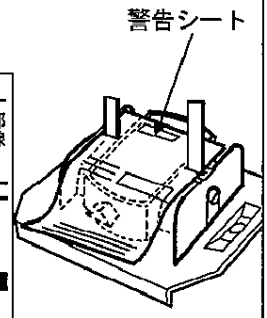
・オートリフターの昇降部をスイッチ操作にて降ろす。
・昇降部に照明器具を取付ける前に、昇降部が回転し、ベルトが ねじれ、
巻き取り異常となるのを防止するため、「警告シート」を昇降部上面にのせています。
・昇降部に照明器具を取付けるまで外さないでください。
・ベルトの巻き取り異常により落下の原因となります。
・昇降部を取付ネジ（2本）で取付板へ確実に取付ける。

注）「警告シート」は照明器具を取付け後、必ず取り外してください。
（ランプ給電用接点の不導通により、ランプが点灯しません。）

・オートリフター昇降部の口出し線を端子台の端子ネジに確実に締付け固定する。
取付ネジは確実に締め付けてください。不備がありますと落下の原因に
なります。又、この時、口出し線が、かまないよう注意してください。
不備がありますと火災・感電の原因となります。







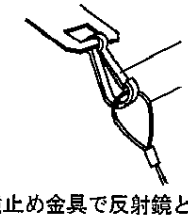
10 ランプ（別売）を取付ける

・必ず適合ランプを確実に取付けてください。
・器具と安定器の取扱説明書で適合ランプを確認の上、添付の使用するランプのラベルを
反射鏡内面の交換ランプの欄に貼り付けてください。
不備がありますと火災の原因となります。

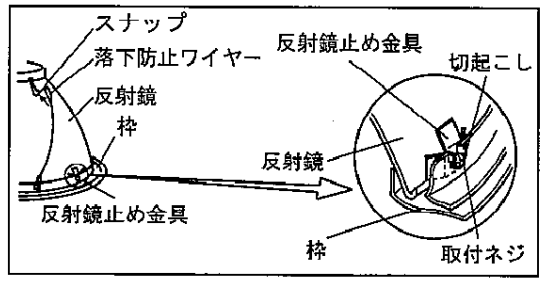
・ランプ取付の際、落下防止ワイヤーの音鳴り防止の赤テープをはがして御使用ください。
不備がありますと火災・落下の原因となります。

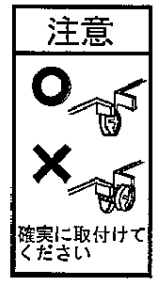
11 枠を取付ける

・スナップと落下防止ワイヤーの位置を合わせてから、
落下防止ワイヤーをスナップに確実に取付けてください。



・反射鏡止め金具で反射鏡とアクセサリー枠を確実に止める。
取付ネジは切起こしの下側にくるように確実に
ねじ込んでください。
不備がありますと落下の原因となります。





12 昇降部停止位置高さの調整
（調整は必ず昇降部が水平状態で実施してください）

・昇降部側面の軸を回転させることにより停止位置高さを調整することができます。

調整可能範囲 上へ3m　下へ1m

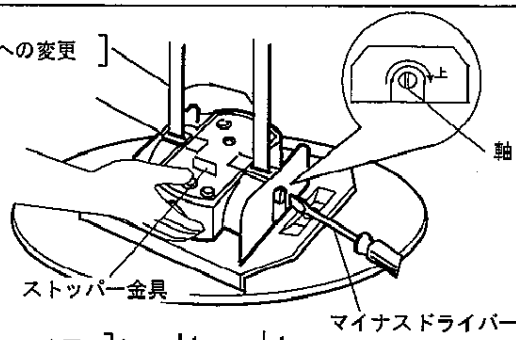
［上への変更］

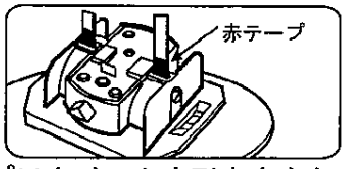
① 昇降部を止めたい位置に仮保持する。

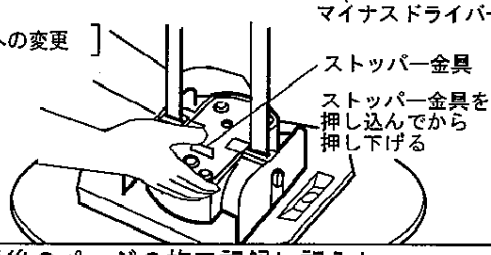
② マイナスドライバーを使い、軸を回転方向に注意し、昇降部が少し浮く程度までベルトを巻き取る。

［下への変更］

・ストッパー金具を押しながら昇降部を止めたい位置まで引き下げる。





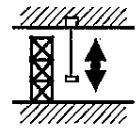


注）赤テープ以上ベルトを引き出さないでください。
ベルトが破断する恐れがあります。

工事店様へ　お客様の施設の安全で便利な保守のために、最後のページの施工記録に記入し、お客様にお渡しくださるようお願いします。

オートリフター試運転について

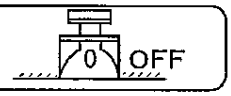
※器具の設置が終わりましたら必ず足場のある内に試運転を行ってください。



・結線が終わりましたら必ず足場のある内に昇降を数回繰り返しオートリフターが正常に動作する事を確認する。
・昇降中に動作音がします。音量は器具取付条件等により差が出る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
・昇降速度にはバラツキがありますのであらかじめご了承ください。

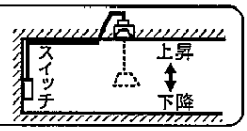
●オートリフターを動かす前には必ずランプ回路の電源をOFFにしてください。

ONのまま作動されると接点の焼損の原因となります。



●スイッチを操作し、上昇↔停止↔下降を数回繰り返しオートリフターが正常に作動しているか確認してください。

連続して上昇下降の繰り返しはしないでください。
オートリフターの故障の原因になります。

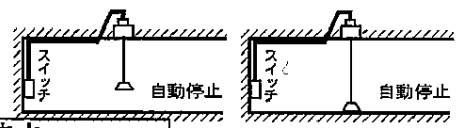


●器具取付時、設定された位置で自動停止しますので確認してください。

昇降中、直下に人が立つことのないようにしてください。
事故の原因となります。

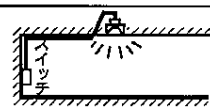
●昇降高さの設定がない場合、床面に到達すると自動停止しますので確認してください。

ベルトの長さ調整等、器具を改造しないでください。落下の原因になります。



●昇降部を上昇させ、最上部に停止した状態でランプ電源を入れて正常に点灯するか確認してください。

運転中は灯具を絶対にゆらしたり、回転させたりしないでください。
落下の原因となります。



故障と思われる前に

■正常に動作しない場合は次のことを確認してください。

現　象	考えられる原因	処　置
★すべての器具が下降しない	・上昇線と下降線が逆接続されている。 ・上昇線と共通線が逆接続されている。 ・配線がはずれている。	・正しく結線する。（P3 参照）
★一部の器具が下降しない	・下降しない器具の上昇線と共通線が逆接続されている。	・正しく結線する。（P3 参照）
★すべての器具が上昇しない （スイッチを上昇にすると下降する）	・上昇線と下降線が逆接続されている。 ・下降線と共通線が逆接続されている。	・正しく結線する。（P3 参照）
★一部の器具が上昇しない （スイッチを上昇にすると下降する）	・上昇しない器具の下降線と共通線が逆接続されている。 ・上昇しない器具の上昇線と下降線が逆接続されている。	・正しく結線する。（P3 参照）
★すべての器具が 下降も上昇しない	・上昇線と共通線が逆接続されている。	・正しく結線する。（P3 参照）
	・配線がはずれている。 ・電源電圧を間違っている。	・電源電圧を確認する。
★一部の器具の動作が異常	・動かない器具の上昇線と共通線が逆接続されている。 ・動かない器具の下降線と共通線が逆接続されている。 ・動かない器具の上昇線と下降線が逆接続されている。	・正しく結線する。（P3 参照）
★ランプが点灯しない	・昇降本体とオートリフター本体の勘合が不十分。	・一旦昇降部を下降させてから上昇させる。
	・配線がはずれている。	・正しく結線する。（P3 参照）
	・「警告シート」を取り外していない。	・「警告シート」を取り外す。（P4 9参照）

注）誤結線されますと器具が正常に動かないばかりでなくモーターが焼損するおそれがあります。

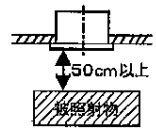
安全に関するご注意

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使い下さい。

⚠ 警 告

●器具の改造および、構成部品（ソケットなど）の交換をしない。落下・感電・火災の原因になります。

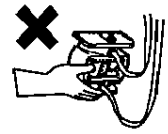
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。 感電・火災の原因となります。



●布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。

●器具と被照射面との距離は、50cm以上離す。
被照射物の火災・変色の原因となります。

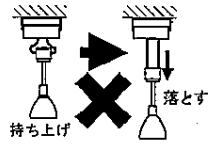
●ベルトを引き出したり、たるませたりしない。落下の原因となります。



●照明器具のメンテナンス以外に、昇降させない。

●ベルトを折り曲げたり、足で踏みつけたりしない。
ベルトの強度低下により、落下の原因となります。

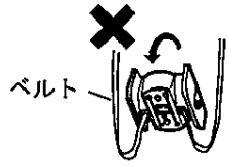
●器具に振動・衝撃を加えない。ランプ破損・短寿命・不点の原因となります。



●昇降部を降ろした状態で、ベルトが折れる方向に、昇降部を持ち上げない。
ベルトの強度低下により、落下の原因となります。

●昇降部を降ろした状態で、昇降部を持ち上げ回転させない。
ベルト切断による落下の原因となります。

●昇降部を降ろした状態で、昇降部を持ち上げ落とす等ベルトに衝撃的な力を加えない。



●昇降時の際、直接器具に風が当たらないようにする。
灯具が本体に当たり、破損・落下の原因となります。

●器具に直接水をかけない。落下・感電・火災・サビの原因となります。

●ホルマリンによる洗浄殺菌をしない。落下・感電・火災・サビの原因となります。

⚠ 注 意

●オートリフター本体カバーを外さないでください。故障の原因となり

●アルカリ系洗剤は使用しないでください。 強度低下による破損の原因となります。

●器具を温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）の近くでは使用しないでください。火災の原因となります。

●昇降中、昇降部を回したりゆらしたりしないでください。破損及び落下の原因となります。

●昇降中、直下に人がたつことのないようにしてください。事故の原因となります。

●昇降部（照明器具）が上昇中に造営物にひっかかった場合、だだちに操作スイッチを停止にし、
ひっかかりをとりのぞいて正常な状態にもどしてください。

●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。
やけど・感電の原因となります。

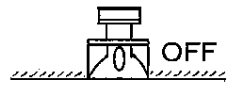
●オートリフターには寿命があります。設置して10※年を経過したり、昇降回数が増すと、外観に異常がなくても
内部の劣化は進行しています。 点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

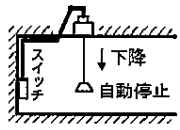
オートリフター操作方法

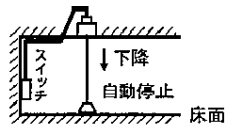
・昇降中に動作音がします。音量は器具取付条件等により差が出る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
・昇降速度にバラツキがありますのであらかじめご了承ください。

●オートリフターを動かす前には必ずランプ回路の電源をOFFにしてください。
ＯＮのまま作動されると接点が焼損します。
●連続して上昇・下降の繰り返しはしないでください。
オートリフターの故障の原因となります。



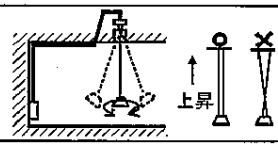
●器具取付時、設定された位置で自動停止します。
昇降高さの設定がない場合、床面に到達すると自動停止します。
**昇降中、直下に人が立つことのないようにしてください。
事故の原因となります。**



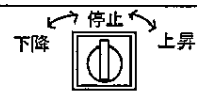


ベルトを引き出したり、たるませたりしないでください。落下の原因となります。

●上昇する時は、ベルトの **「ねじれ」「もつれ」** がないか確認の上、スイッチを上昇にする。
途中で、ねじれやゆれが生じたら、ただちに止めてください。
運転中は灯具を絶対にゆらしたり、回転させたりしないでください。



●昇降部は本体の最上部で自動的に停止します。
●昇降動作が終了しましたらスイッチを必ず停止にしてください。



お手入れ・ランプ交換 ⚠ 注 意（必ず電源を切って行う。感電・火傷の原因になります。）

・器具の清掃について ・・・・・・・・・

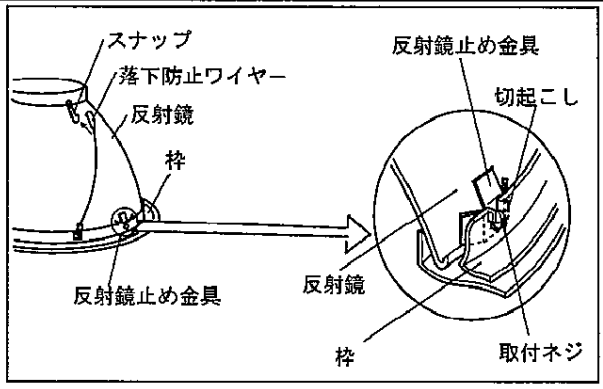
器具に直接水をかけないでください。
落下・感電・火災・サビの原因となります。
ホルマリンによる洗浄・殺菌をしないでください。
落下・感電・火災・サビの原因となります。
ガラス表面にテフロン樹脂をコーティングしてあります。
硬い布やタワシなどでこすったり、硬い凹凸のある面などに置いたりしないでください。
不備がありますとガラス表面に傷がつき、破損時の飛散防止効果が損なわれる原因となります。
水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色、変質、強度低下による破損の原因となります。

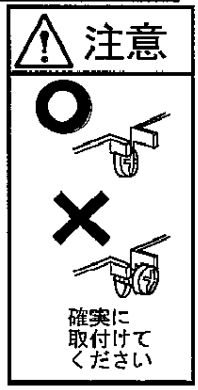
・ランプ交換について ・・・・・・・・・

ランプ交換は指定されたランプを使用してください。
（パナソニック製ランプをご使用ください）

適合ランプ	HF300X（・W） MF300・L／BU（－SC）－P NH270F・L NH270FD・L	CM270F・L－LW／BU CM270F・LE－W／BU

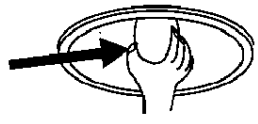
〈ランプ交換方法〉
1. 枠をはずす。
・反射鏡止め金具の取付ネジをゆるめ、
反射鏡に取り付いている枠をはずしてください。
2. ランプを交換する。
・必ず適合ランプを確実に取付けてください。
3. 反射鏡止め金具の取付ネジで反射鏡に枠を取付ける。
・取付ネジは切起こしの下側にくるように
確実にねじ込んでください。
不備がありますと落下の原因となります。





⚠ 注 意

・点灯中や消灯後はランプやその周辺にさわらないでください。
やけどの原因となります。



取説 No.NCX73220－T7

お客様へのお願い

オートリフターの性能を維持する為、少なくとも６カ月に１回は昇降して、下記項目を点検してください。
異常があれば、すぐに使用をやめ工事店様にご相談ください。

※点検後は、昇降部が最上部に停止した位置でスイッチを停止の位置にもどしてください。

点検順序	確認項目	確認内容
1	下降動作の確認	・下降動作は正常か ・下降中にスイッチを切ると停止するか ・床につくと自動的に停止するか
2	ベルトの確認	・キズがないか ・形くずれをしていないか ・腐食していないか
3	その他の確認	・ネジのゆるみはないか ・ランプはゆるんでいないか
4	上昇動作の確認	・上昇動作は正常か ・昇降部が最上部に停止したか

保証について

１：保証について
この商品の保証期間は１年間です。
但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。

２：保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

３：補修性能部品（電気部品）について
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

仕 様 及 び 定 格

オートリフター仕様

品番	取付可能重量	ランプ回路接点数	ランプ回路接点容量	昇降高さ	昇降速度		連続使用時間	定格昇降回数
					上昇	下降		
YB09560	0～10kg	２接点（１回路）	１回路につき12A300V	15mまで	2.4～3.2m／分	2.5～3.4m／分	13分以内	100回

オートリフター定格

品番	電圧	入力電流	消費電力	周波数
YB09560	AC200V	0.35A	62W	50Hz／60Hz共用

お客様へ　ランプ交換など保守のために、下表内容をご確認の上、適切な保守用品をお求めください。
なお、安全のために保守作業は、できるだけ工事店にご依頼ください。

保守・点検のために

〈施工記録〉

品番	
取付年月日	
使用ランプ品番	
使用安定器品番	

保守作業上の注記

パナソニック電工株式会社　ナショップ・調光システム事業部　〒571-8686 大阪府門真市門真1048

MN1204-071008